



滋賀短期大学 学 報

2020. 7. 1

No. 87

CONTENTS

【学長、元学長メッセージ／P2～3】

【各学科長、役職教員からのメッセージ／P4～5】

【特集1／P6～7】

卒業証書・学位記授与式、入学式 ほか

【新入職員・退職職員ごあいさつ／P8～9】

同窓会だより ほか

【学外実習報告／P10】

【Shiga・Tan・Information／P11】

就職状況、免許資格取得状況 ほか

【学内情報／P12～16】

教育研究活動報告、入試情報、学科紹介、
図書館だより、公開講座 ほか



滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会

電話 (077) 524-3605

ホームページアドレス <https://www.sumire.ac.jp/tandai/>

コロナで考えること

滋賀短期大学学長 秋山 元秀



今この原稿を書いているのは4月の入学式が終わったばかりのころです。いつもならこの学報が出る6月はおおよその状態が予想できるのですが、今年ばかりはどうなっているのか予想ができません。これは本学や滋賀県だけではなく、大げさにいえば世界全体がどうなっているのかわかりません。何といっても新型コロナウイルスの感染が、これからどの程度広まって、その後終息に向かっているのか、その過程で感染爆発というような事態が生じているのかどうか等々、未知数が多すぎて途方に暮れています。

私は戦後生まれですから、自分自身で戦争を体験したことはありません。現在でも世界各地で戦争が実際に行われていますが、日本にいる限りどこかよそ事であるのは確かです。しかし自然災害という面では、子どもの頃の何度かの台風、それに近年の神戸と東北の地震は、自然の猛威をいやというほど教えてくれました。

ところが今度のウイルス禍は、驚異の相手の姿が見えないところが、戦争や自然災害の怖さとは違います。姿が見えないという点では放射能汚染と似ているかもしれません。しかし放射能は汚染源から一定距離を保てば安全圏となるし、ガイガーカウンターで危険度を視覚化することができます。しかしウイルスは神出鬼没、どこに飛ぶやらわからない。結局感染してはじめてその存在がわかるというしるものです。

ウイルスや最近の感染は何も今始まったことではありません。ギリシャの昔から人類が多くの感染症を経験してきたことはよく知られています。日本でもコレラやチフスの流行によって多くの犠牲者が出たことがあります。しかし今回の新型コロナウイルスの場合、コレラやチフスがもたらしたような

惨状にはなっていませんが、社会全体に与える破壊力においてはすさまじいものがあります。それは世界がグローバル化によって限りなく狭くなり、以前には考えられなかったヒトやモノの移動が、きわめて容易に大規模に行われていることが、これほど短時間で世界中に感染が拡大した要因です。

さらに感染の拡大が、世界経済に前例を見ないほどの混乱を引き起こしているのも、グローバル化している生産・流通のみならず、国家の財政・金融も世界全体がからみあっているからです。世界の工場となっていた中国が、一定期間機能停止してしまうと、世界経済がまわらなくなります。アメリカ・ファーストの政策で好景気を招いてきたアメリカが一旦つまずくと、起き上がるまでに莫大なエネルギーが必要だし、日本などは対岸の火事ではすみません。

しかしそれだからといってグローバル化の矛盾があらわになってきたとか、近代化のいきすぎは正さなくてはならないという反省は必要ですが、EUは結局意味がなかったとか、国境を封鎖して国家主義的政策を取ろうという機運が高まるのは、20世紀のたびたびの戦争を経験してたどりついた国際協調、世界平和の理念に逆行することになります。人類の英知が苦心して手に入れた栄冠を、コロナ（王冠という意味）という名をもつウイルスが汚そうとするのは何とも皮肉な現象ですが、王冠はかぶっていてもウイルスという名の裸の王様には早く退場してほしいものです。

このような姿の見えない敵に向き合う不安には、ただ怖がっていても対応できません。このような経験をしたことにより、我々は新しい世界のありかたを考える知恵をもっていることがわかる日の来ることを願っています。

滋賀短期大学で よい学びと出合いを

元滋賀短期大学学長 榎 和子
(第4代学長)



滋賀短期大学開学50周年おめでとうございます。50年の確かな歩みの上に、縁あって滋賀短期大学の学生となられた若い皆様と地域社会の方々の豊かな学びの拠点となって記念すべき佳き年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

私が滋賀女子短期大学（当時）にお世話になった36年間で取り分け印象深いのは、調理室で学生の皆さんと共に学んだ日々と、学内教職員がみんなで協力して課題に取り組んだ日々のことです。開学30周年は、少子化、四大志向等の影響を受けて短大冬の時代といわれる中で迎えていました。学生募集が喫緊の課題でした。私たちにできること、なすべきことは「よい教育」に努めることだと考えました。そして、すべての学生さんに生きる力を身につけてほしいと願いました。

キャッチコピー 明日から「できる」自分へ～一人ひとりを見つめて応援します～ もみんなで考えました。学生さんのわかった、できたという喜びや感激に立ち会うことが私たちの喜びでした。卒業生がそれぞれの持ち場で懸命に努力し、幸せに生きておられることを知ることが私たちを支える力となりました。ありがとうございました。

思いがけない新型コロナウイルス禍の中で新学期を迎えられた新入生、在学生の皆様は、その学生生活を待ち望んでおられたことと思います。全学教職員に支えられてお友達と助け合って、少々違う形かもしれませんが始めておられることを願っています。どうぞ滋賀短期大学でよい学びとよい出合いを経験されますようお祈りいたします。

滋賀短期大学歴代学長



初代学長
松原 武夫
(昭和45年4月～昭和59年3月)



第2代学長
川崎 源
(昭和59年4月～平成4年3月)



第3代学長
岡野 久二
(平成4年4月～平成12年3月)



第4代学長
榎 和子
(平成12年4月～平成18年3月)



第5代学長
板倉 安正
(平成18年4月～平成24年3月)

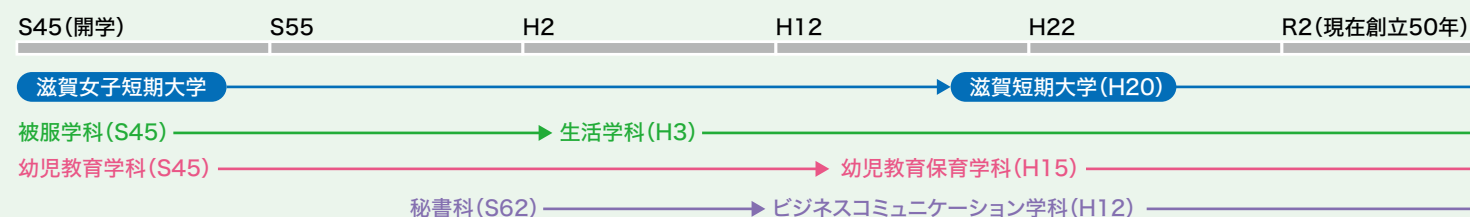


第6代学長
佐藤 尚武
(平成24年4月～平成30年3月)



第7代学長
秋山 元秀
(平成30年4月～現在)

滋賀短期大学学科50年の歩み



各学 科長

からのメッセージ

Teaching staff-Message

先生のキモチ、
伝えます



ラーニング・サポートセンターを活用しよう

副学長(教学) 小山内 幸治

昨年度の10月に開設されたラーニング・サポートセンターは、平成25年度に学生の学力向上支援のための「学習支援室」として誕生し、「ラーニング・コモンズ」と名称を変えたのち、昨年、センター専任教員の配置など機能を充実させて、「ラーニング・サポートセンター」として再スタートをきりました。「ラーニング・サポートセンター」では、皆さんがゆっくりじっくり学べる場を提供し、将来の社会人としての基盤を作ることを支援します。「大学の勉強でわからないところがある。」「公務員試験の勉強を教えてください」「4年生大学編入のためにTOEICの勉強がしたい」など皆さんの様々な要望に応えていきたいと思っています。空き時間や放課後に気軽に立ち寄ってみてください。



『生活学の視点』に立つ、豊かな暮らしの創造

生活学科 学科長 中平 真由巳

生活学科では本年度より「ライフデザインコース」を開設して、「食健康コース」「製菓・製パンコース」の3コースで船出しました。『健康で豊かな暮らし』を3コース共通の柱とし、生活学の視点で食生活や暮らしを科学、文化、実践面など様々な方向から多角的、総合的に探求します。各コースでは栄養士をはじめ栄養教諭、製菓衛生師、フードスペシャリストなど専門的な知識と技術が必要とする資格が得られ、食と暮らしの専門家としての多様な働き方を後押しします。生活学を存分に堪能していただけるよう、教員一同力を尽くして参ります。社会に貢献できる豊かな暮らし作りの専門家としての土台を一緒に築いていきましょう。



“量”から“質”への転換 ～“なる”から“する”へ～

幼児教育保育学科 学科長 北尾 岳夫

在学生、卒業生はじめ関係者の皆さん、本年度より学科長を拝命いたしましたのでよろしくお願いいたします。今、日本の保育現場では保育者が不足しています。どの保育現場からも「人手が足りない」という声が聞こえてきます。このような状況の中、本学でも保育現場へ就職を希望する学生のほぼ全員が、その望みを叶えています。今の保育現場は、保育者の“量”を確保する必要がある時代なのです。目を転じて出生数はどうでしょうか。その数は年々減少傾向にあり、増加に転じる気配はあまり感じられません。子どもの数が減少傾向のなかで保育者数が充足されたとき、次に保育者に求められるものは何でしょうか。それは“質”です。世界的にも乳幼児期の保育・教育の重要性が指摘される現在、保育現場では保育者としての“質”がこれまで以上に求められる時代になるでしょう。“質”の高い保育者になるためには何が必要なのか、本学で学びながらじっくりと考え、その素養を高めてください。大切なことは、保育者に“なる”ことではなく、保育者として何を“する”かです。未来の子どもたちから必要とされる、素敵な保育者を目指してください。



可能性への挑戦～何ができるかに目を向けて～

ビジネスコミュニケーション学科 学科長 沖山 圭子

令和2年度は、例年とは違った形でスタートとなりました。こんな時に、新聞紙面で「ネガティブな社会になっている時に、何ができないかではなく、何ができるかと可能性に目を向ける」という記事を目にしました。私の先輩で、バラスポーツに長年関わってこられた高橋明氏のことばです。できることに着目し、用具やルールを工夫しながら行われるのが「障害者のスポーツ」だと。人は想像力を働かせてできることを考え、どのようにしたらできるか工夫することで、今まで出来なかったことができるようになる。そうすることで、様々なことに挑戦して、そこから自信も生まれる。閉塞感があるときこそ、私たちは何ができるかを考え、自らの可能性に挑戦していく気持ちを忘れずにいたいと思います。ビジネスコミュニケーション学科は多様な分野の学びが特徴です。みなさんの目標、目指す道に向かって、どうせできないと考えるのではなく何ができるかに目を向けて、ポジティブな考え方で様々なことに挑戦してください。滋賀短大はその舞台です。一緒に夢を追いかけてみましょう。

役職 教員

からのメッセージ

Teaching staff-Message

先生のキモチ、
伝えます



一歩 未来へ

副学長(総務)・図書館長 深尾 秀一

令和2年度入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年は感染症対応のために、異例続きの4月、5月となりました。学校生活のスタートラインに立たれた皆さんにとっては、想像されていた短大生活とはかなり違うものだったかもしれません。まさに今、人の生き方や社会構造が、未来に向かって大きく変わる歴史的ターニングポイントに遭遇していると言えるのではないのでしょうか。この変革の時をふまえ、自分自身を磨き、社会にはばたき旅立つための有意義な準備段階の期間として、しっかりと2年間の学生生活を過ごしてください。



心のつながりを

学長補佐(教務) 清水 まゆみ

新型コロナウイルスが世界中に拡散し、猛威を振るっています。この収束、さらに終息にはかなりの時間を要することになりそうです。感染予防の対策として、3つの密（密閉・密集・密接）を避けることが重要ですが、これらは学校での授業にはむしろ必要とされる事項です。幸い情報化社会の現代では、いろいろな手段で情報を伝えることができます。そこで、さまざまな工夫を凝らして授業を行っているところです。学生生活でも、大勢が集まったり、間近での会話は制約されますが、思いを伝える手段はあります。心のつながりを大切にしてください。



自立とは、困ったときに助けてと言えること

学長補佐(学生) 笹倉 千佳弘

新年度が始まって早くも2か月が経過しました。まずは新型コロナウイルスの影響で、ご不便をおかけしていることをお詫び申し上げます。何かと制約の多い状況ですが、私たち教職員は、みなさんの学修をはじめとする大学生活全般にわたって、全力でサポートすることをお約束します。私たち教職員と学生のみなさんが手を取り合って、居心地のよい滋賀短期大学にしていきたいと思います。そのときに大切なのは、何事においても1人でやり切ろうとしないことです。人はみな不完全な生き物なのですから、無理な場合は周りの人に助けてもらいましょう。困ったときに助けてと言えること。私はこれが自立していることだと考えています。



滋賀短期大学創立50周年を迎えて

学長補佐(入試) 山中 博史

今年度は、短期大学創立50周年を迎えます。私は、40年間、本学において教育に携わってきました。また、今年度からも、学長補佐(入試担当)を務めます。過日、志願者がV字回復した東京の女子短期大学に視察に伺いました。学生が、自信を持って、自らの大学をPRできるプレゼンテーション能力を有していることに大変驚きました。今年は、滋賀短期大学の魅力を伝える「しーたん'S」が発足します。上記の短大のように、学生各人が、帰属意識を持って、オープンキャンパス等の行事を通して、本学の魅力を伝えられる人材になることを心より期待しています。



第49回卒業証書・学位記授与式

生活学科 講師 山岡 ひとみ

令和2年3月13日（金）10時より、本学の体育館に於いて第49回卒業証書・学位記授与式が挙行され、生活学科52名、幼児教育保育学科122名、ビジネスコミュニケーション学科96名に学位記・卒業証書が授与されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体育館には卒業生・教員・来賓者のみで別室に保護者の方々に在席していただき、ライブ中継で式典の様子を観覧していただきました。規模を縮小する形でしたが卒業式が挙行されたことは大変うれしく思いました。

秋山元秀学長は、卒業生へ「社会の動きにより困難な事態

が起こっても強くたくましく対処して欲しい。そのエネルギー源となるのは、学校で過ごした時の仲間や先生達との絆であり大事な財産となり、社会人としてしっかり生きていくときの支えになる。」と式辞を贈られました。卒業生を代表して、幼児教育保育学科の白土育恵さんが謝辞を述べ、学生自治会長の藪中智史さんが卒業記念品の目録を贈呈しました。

式典終了後は、正面玄関に各学科の卒業生が集まり温かな晴天の下できらりと輝く笑顔の卒業生達が写真を撮り合う風景が見られました。新たな門出をお祝いし思い出深い卒業式となりました。



令和2年度入学式

ビジネスコミュニケーション学科 特任教授 堀池 喜八郎

桜が満開の令和2年4月2日に入学式が体育館で行われ、生活学科62名、幼児教育保育学科123名、ビジネスコミュニケーション学科103名の学生を迎えました。新入生を代表してビジネスコミュニケーション学科古賀春奈さんが入学宣誓をされました。

今年度は新型コロナウイルスの感染予防のため、異例の式典となりました。保護者は別室で控えていただき（インターネット中継）、出席者はマスクを着け、座席間隔をあげ、学歌は斉唱せず

CDを聴き、入学生の個人名の読み上げはやめました。秋山学長は式辞において裁縫学校の意義や近代女子教育の歴史にふれ、今年度は創立50周年にあたることや建学の精神「心技一如」について述べられました。

入学生の皆さまがコロナウイルス感染症の世界的大流行に負けず豊かな学園生活をおくれるよう、教職員一同サポートして参ります。



学生自治会執行部の紹介

学生自治会 会長 吉田 亜利紗

私たち学生自治会執行部は、二年間の学生生活がより良いものとなるよう、様々な活動を行っています。

大きな活動は5月の学生総会、6月の体育大会、11月の純美禮祭(学園祭)、3月の卒業記念パーティーの企画・運営です。また、学内交流や滋賀県内のボランティアにも参加しています（今年度は新型コロナウイルス感染拡大の為、残念ながら体育大会は中止となりました）。

自治会は学生の代表として、学内だけでなく外部の方々とも打ち合わせをします。「一つの行事を成功させるためにはこんなにたくさんの準備が必要なのか」と驚くことも多々あります。しかし2年間で学んだ責任感や社会性は、その後の人生においても必ず役に立つものだと思っています。

滋賀短期大学は今年で創立50周年を迎えます。私たちと一緒に滋賀短期大学の節目の年を盛り上げてくれる人を募集します。誰でも気軽に自治会室を訪れてみてください。新しい仲間をお待ちしています!!

滋賀短のSポーズ。
皆さんも是非真似して
みてください!!



滋賀短期大学附属すみれ保育園がスタートしました！

滋賀短期大学附属すみれ保育園（守山市）園長 前川 頼子

令和2年4月1日に、滋賀短期大学附属すみれ保育園がスタートしました。0歳児から5歳児までの80名の子どもたちが元気よく入園してきてくれました。その子どもたちの未来へ思いを馳せ、子どもたち自らが「やりたい」「知りたい」「おもしろい」と、わくわくする気持ちを大切にしながら、環境から刺激を受け試行錯誤を繰り返す中で、自ら行動する力が育ち、一人ひとりの魅力が伸ばせる保育を展開し、夢や希望をもって自分の生活を創り出す子どもを育てていける場所創りを考えています。



新入職員

ごあいさつ

New staff-Message



モノづくりの楽しさを



生活学科 特任講師
河村 梨花

本年4月より特任講師としてお世話になっております。「ソーイング」や「ハンドメイド演習」の授業を担当しています。可愛いものを作りながら、モノづくりの基礎から専門的な技術と知識まで、さまざまな手仕事のスキルを、楽しくお伝えしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたひします。

子ども達の未来や皆さんの夢に向かって!



幼児教育保育学科 准教授
三上 佳子

昨年度は、実習全般を担当していましたが今年度より専任となりました。園や教育行政現場での実践を活かし、子ども達の未来や学生の皆さんの夢に向かって、「現場につながる授業」を創っていきたくて思ひます。どうぞ、よろしくお願いいたひします。

2年間で学ぶの場となれるように



生活学科 特任助手
北川 志信

昨年度は非常勤職員としてお世話になりましたが、本年4月より生活学科製菓研究室で特任助手として勤務してあります。学生の皆さんにとって有意義な学生生活になるよう、精一杯サポートさせて頂ひます。よろしくお願いいたひします。

改めてよろしくお願いします



ビジネスコミュニケーション学科 講師
伊澤 亮介

滋賀短期大学での勤務は今年で5年目になりますが、昨年度の後期から、新たに設置されたラーニング・サポートセンターの常勤講師に任命されました。学生のサポートに全力で取り組みたいと決意を新たにしています。よろしくお願いいたひします。

退職職員

ごあいさつ

5年間を振り返って

生活学科 特任助手 服部 聖羅

生活学科の助手として5年間お世話になりました。社会人としての責任を日々感じながら、今日まで仕事を全うして参りました。学生に対する関わり方や指導に苦戦しながらも、日常生活の中での学生とのふれあいやベークリー塾での貴重な経験が私を大きく成長させてくれました。これまで支えて下さったすべての方に感謝申し上げます。



17年間の感謝の気持ちを込めて

幼児教育保育学科 教授 荻田 純久

着任した頃は、大御所の先生方が沢山おられ、そうした先生方から多くのことを教わりました。それから17年。先生方が徐々に退職され、いつの間にか私は教授となり、分不相応にも最後は学科長になってしまいました。これまで私を支えて下さった全ての方々に感謝の意を表し、退職のご挨拶とさせて頂きたいと思ひます。誠に有難うございました。



退職にあたりご挨拶

幼児教育保育学科 教授 前川 頼子

保育現場を退職し、ご縁があつて滋賀短期大学の教員として8年間は、これまでの人生の中で経験したことのない充実した日々でした。授業準備をしながら私自身も学んでいる状態でしたが、一生懸命に授業を聞いてくれた学生たちには本当に感謝しています。また日々の教育・研究を支えて下さった教職員の皆様にも、心から感謝しております。4月からは附属すみれ保育園での子どもたちとの出会いがスタートします。今日もご機嫌な、そのまんま幸せいっぱいな笑顔の子どもたちに出会える園創りをしていきたいです。

最後になりましたが、皆様のさらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。有難うございました。



きっと想像した以上に騒がしい未来が僕を待ってる

ビジネスコミュニケーション学科 准教授 金澤 雄介

「キャリア基礎演習」の学生に格言を紹介するコーナーで、タイトルの「チェリー」(スピッツ)の歌詞を紹介し、未来は無限の可能性を持ち、世界は何倍にも広がることを伝えました。今、私の頭の中で繰り返すのはまさにこのフレーズです。本学での経験を自身のキャリアに生かしたいと思ひます。お世話になった皆様、本当にありがとうございました。



同窓会だより

【新入会員のお知らせ】

●令和2年度新入会員 (令和2年3月卒業生)

生活学科 52名
幼児教育保育学科 122名
ビジネスコミュニケーション学科 96名
計270名

●年次評議員

生活学科: 辻川七瀬さん、辺木海音さん
幼児教育保育学科: 岡村生成さん、山本翔真さん
ビジネスコミュニケーション学科: 川勝歩さん、片山志歩さん

●評議員 (岡村生成さん) ごあいさつ

時代が令和に代わり、令和初の同窓会として270名が新たに仲間入りを行いました。来年は同窓会設立50周年の記念式典も開催されますので、評議員として微力ながらお手伝いが出来ればと思っております。どうぞよろしくお願いいたひします。

令和2年度 同窓会総会について(お願い)

盛夏の候、会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急事態宣言」は全面解除されましたが、まだまだ予断を許さない状況にあり、3つの密を避けることを遵守したいと思ひます。

よつて、今年度の総会は、小規模・時間短縮で役員のみで開催いたしたく存じます。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたひします。また、令和3年度は、滋賀女子短期大学・滋賀短期大学同窓会設立50周年となり、式典・祝賀会を開催いたひします。

●日時: 令和3年9月12日(日)

●会場: 琵琶湖ホテル

●会費: 7,000円

●内容: 総会・記念講演・祝賀会

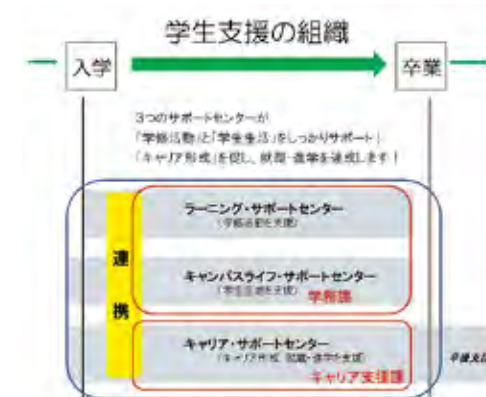
詳細については、令和3年6月吉日に、総会・式典・祝賀会の案内を送付いたひします。友達を誘ひ合つて是非ご出席ください。同窓会役員一同、心よりお待ちしています。

組織変更の案内

本学では、入学してよかったと思つてもらえる大学をめざし、従来の「ラーニング・サポートセンター」に加え、令和元年12月に「キャンパスライフ・サポートセンター」と「キャリア・サポートセンター」を新たに設置し、学生サポートを強化しました。

この3つのサポートセンターが互いに連携し、学生の学修活動と学生生活をしっかりサポートし、キャリア形成を促し就職・進学を支援していきまふ。

これに伴ひ、学生支援課からキャリア支援課を独立させ、令和2年4月に教務課と学生支援課を学務課へ統合する組織変更を行いました。



学外実習報告

■ インターンシップを通して

生活学科 製菓・製パンコース 2回生 栗原 聖那

私は彦根にある「クラブハリエ ジュプリルタン」へインターンシップに行かせていただきました。主にパンの成形、そして掃除やかたづけなどの業務を教えていただきました。5日間でしたが、本当に素敵な方々と充実した実習をさせていただくことができました。

1番印象に残っていることは「仕事は丁寧にする」ということです。パンは発酵の時間を必要とするため、パンを焼き上げていくうえで時間がとても重要であり有限です。だから私は「はやくしないと」と常に考えていました。私の成形をみて、シェフやスタッフの方々から「これだとうまく発酵ができないから、こうしてほしい。」と注意を受けました。早さばかりにこだわってしまい、丁寧にするという当たり前のことを忘れていました。理由と手順の説明を聞いて、私はお店の方々は全員「良いパンをつくる」ということを1番に考えていることに気づきました。もちろん早さも大切ですが、綺麗につくることに意識しました。他には、挨拶の大切さや自分の技術不足に気づくことができたりなど、たくさんのことをジュプリルタンで学ばせていただきました。ジュプリルタンの皆様に感謝し、学んだことを今後活かしていきたいです。



■ 保育実習を終えて

幼児教育保育学科 2回生 岩本 怜香

大学に入って初めての保育所実習。主に観察実習ではありましたが、10日間で全てのクラスを回らせていただき、クラスごとの普段の様子や、好きな遊びなどを実際に感じる事ができました。

小さい年齢のクラスでは、まだまだ自分の意見を相手に言葉で伝えることが難しく、言葉以外での意思を伝える指差しなどをいかに理解するかが大切であると感じました。欲しいものを欲しいと指差しをしたり、嫌なことをされた時に嫌だと言えたり、自分の気持ちをしっかりとお友達に伝えることができた時は、自分の気持ちを言えたねと褒めることも大切だと感じました。「よくできたね」と伝えることで子どもの自信にもつながるのだと思います。小さい年齢であっても、大きい年齢であっても、共通して大事なことは、子どもの気持ちに寄り添うことなのだとこのことを実感しました。今回の実習の自分自身の課題として、子どもの言動の裏にはどのような気持ちが隠れているのか考えることを目標にしてきました。この10日間で子どもの行動には子ども自身の気持ちが隠れていて、意味があることを学びました。同時に、子どもの気持ちを汲み取ることの難しさも学びました。今回の実習で学んだことを次回以降の実習で活かしていきたいと思います。



■ インターンシップを終えて

ビジネスコミュニケーション学科 2回生 栗田 綾香

私は、滋賀ダイハツ販売株式会社大津店様に五日間お世話になりました。はじめ、私は初めてのインターンシップということだったので、とても緊張しました。初日、本店で挨拶の仕方、言葉遣い、会社の方針や理念、社是などの説明を受けました。私は説明を聞く前は、車の販売をしているというイメージが強く、会社の組織や活動を知り、お客様はもちろんのこと、社員のことも一番に考えるなど、社長が自ら小学校のトイレ掃除の活動をしているという驚きの内容ばかりで、最初の会社の印象とは変わりました。現場では、主にドリンク出しや、お出迎えやお見送りをしていました。時と場合に応じて、お客様に対する言葉遣いなどを教えてもらいました。やはり、細かい所まで丁寧にしているからこそなのか、お客様アンケートからは、お出迎えなどスムーズであったなど、お褒めの言葉が書かれていました。社員の方にお話を伺う中で、やっぱりお客様に「ありがとうございます。」と心からの言葉が一番嬉しい、喜んでいただけるのがやりがいとおっしゃっていました。今回のインターンシップで、私が実際社会で働けるイメージをもつことができ、また、この経験を活かしたいと思います。



皆さんに、お知らせやニュースをお届けします！

Shiga・Tan・Information

「キャリア・サポートセンター」について

キャリア支援課 課長 大伴 嘉彦



新たな組織として、事務局にキャリア支援課を立ちあげ、教職連携の「キャリア・サポートセンター」を3号館一階に設置しました。深尾副学長をセンター長に、各学科から選出された教員とキャリア支援課員で構成されています。この「キャリア・サポートセンター」は、学生のキャリア形成、就職および進学に関する支援や説明会等の企画、職業紹介及び就職先開拓に関する業務が中心となります。

新年度に向けての最初の取組は、保護者向け「就職・資格取得支援計画」パンフレットの作成でした。これは、就職支援講座・実習年間計画を学科毎に掲載し、資格取得支援講座年間計画表にまとめたものです。学生たちが本学に入学後、どのような支援を受け就職につなげていくか、どのような計画を立て資格に挑戦で行くのかが目で理解できるようになっています。一方、学生には、就職・資格取得講座ガイドブックを作成しました。このガイドブックは、就職支援講座と資格支援講座の年間計画を掲載しています。講座や模試の申込書も含まれており、2年間でのキャリア形成が一目で理解できる冊子になっています。

新たな取り組みとして、卒業後3年間、卒業生の就職に関する相談・支援を実施していきます。本学は、中途採用で直接企業や店舗、園などからの求人も頂くことがあります。そういったチャンスを卒業生への就職支援という形で実施してまいります。

就職に関しては、学生たちがいかに自分自身のキャリア形成をプランニングするかがカギになります。学生と一緒に歩めるセンターを目指しています。

令和元年度卒業生就職状況は、以下の通りの結果となりました。

生活学科、就職希望者50名に対し、内定者50名で内定率が100%。幼児教育保育学科、就職希望者114名に対し、内定者114名で内定率が100%。ビジネスコミュニケーション学科、就職希望者85名に対し、内定者が82名で内定率が96.5%。全体では、就職希望者249名に対し、内定者246名で内定者率が98.8%で未内定者が3名でした。加えて4年生の大学への編入は3名、専門学校への進学は2名という結果でした。正規の公務員内定者は、幼児教育保育学科では10名に達し、ビジネスコミュニケーション学科では1名の合格者を出しました。今後も公務員合格者、10名以上輩出できるようキャリア教育に努めたいと考えます。

就職・編入支援(講座・実習)年間計画表

(講義内容は変更することがあります 2020年度生用)

実施月	生活	ビジコミ	幼教
4	キャリア基礎演習	キャリア基礎演習 (必修 8コマ)	キャリア基礎演習
5	〃	〃	〃
6	〃	〃	〃
7	〃	〃	〃
8		前期集中講座 (インターンシップ)	
9		前期集中講座 (インターンシップ)	
10	就職支援講座 (1回生後期開催)	教養基礎 (必修 15コマ)	就職支援講座 (1回生後期開催)
11	〃	〃	〃
12	〃	〃	〃
1	〃	〃	〃
2	インターンシップ (製菓実習)	後期集中講座 (インターンシップ)	保育園・施設実習 (両方)
3	インターンシップ (製菓実習)	後期集中講座 (インターンシップ)	保育園・施設実習 (両方)
4	就職支援講座 (2回生前期開催)	2019年入学者 就職支援講座 (2回生前期開催)	2020年入学者 キャリア デザイン演習 (必修8コマ)
5	〃	〃	〃
6	〃	〃	幼稚園実習
7	〃	編入対策 ガイダンス	編入対策 ガイダンス
8	〃	編入対策 ガイダンス	編入対策 ガイダンス
9	〃	編入対策 ガイダンス	編入対策 ガイダンス
10	〃	編入対策 ガイダンス	編入対策 ガイダンス
11	〃	〃	〃
12	〃	〃	〃
1	〃	〃	〃
2	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃

通年で随時、就職相談、模擬面接、履歴書添削等実施しています。
予約制になりますが、ハローワークさんによる相談コーナーも設けています。

資格取得支援講座年間計画表

(講義内容は変更することがあります 2020年度生用)

実施月	共通受講	生活	ビジコミ	幼教
4			公務員特講Ⅰ 医療保険請求事務1回生 前期授業	
5			〃	
6	6/13 モス ワード受験日 6/13 秘書技能検定試験		〃	
7	7/25 モス エクセル受験日		〃	
8				
9	9/19 モス パワーポイント受験日		公務員特講Ⅱ	公務員教育保育職 特別講義Ⅰ基礎編
10			公務員特講Ⅱ 医療保険請求事務 対策講座・試験	〃
11	11/14 秘書技能検定試験		公務員特講Ⅱ	〃
12	12/19 モス ワード受験日		公務員特講Ⅱ	〃
1			公務員特講Ⅱ	〃
2	2/1 公務員チャレンジ模試 2/6 秘書技能検定試験 2/13 モス エクセル受験日 2/13 モス パワーポイント受験日 2/26 ビジネスコミュニケーション検定受験日 2/24 SPI対策講座 3日間			
3	ITパスポート受験			
4	4/12 公務員模試50問 ② 4/25 公務員模試50問警察 ③		医療事務コンピュータ 2回生 前期授業 (医療コンピュータ技能検定試験 取得授業) ホテル・マネジメント論 前期授業	公務員教育保育職 特別講義Ⅱ 応用編
5	5/9 公務員模試40問 ④ 5/31 公務員模試50問警察 ⑤	製菓衛生師対策講座 木2限他	〃	〃
6	6/13 モス ワード受験日 6/13 秘書技能検定試験	家庭料理技能検定一次3-2級 (筆記)	〃	〃
7	7/12 公務員模試50問 ⑥ 7/25 モス エクセル受験日	製菓衛生師 検定試験	〃	〃
8				
9	9/19 モス パワーポイント受験日	パティスリーラベンジ3級 授業 家庭料理技能検定二次3-2級 (実技)	ホテルマネジメント技能検定 3級 学科試験	
10			医療事務コンピュータ技能検定 対策講座	
11	11/14 秘書技能検定試験	〃	医療事務コンピュータ技能検定 試験 3級 (11/14)、2級 (11/15) 診療報酬請求事務能力認定 対策講座	
12	12/19 モス ワード受験日	フードスペシャリスト 3部門 資格試験	ホテルマネジメント技能検定 3級 実技試験 診療報酬請求事務能力認定 対策講座 診療報酬請求事務能力認定 試験	
1		パティスリーラベンジ3級 後定期試験中受験		
2	2/6 秘書技能検定試験 2/13 モス エクセル受験日 2/13 モス パワーポイント受験日 2/26 ビジネスコミュニケーション検定受験日 2/24 SPI対策講座 3日間			
3	ITパスポート受験			

令和元年度 教育研究活動報告

1) 著書

原 知子	■(単)月刊「保育とカリキュラム」 食育等コラム 光のくに 4～3月 ■(共)シードブック乳児保育I・II-科学的観察力と優しい心-建帛社 7月
笹倉千佳弘	■(共)はじめて保育・教育を学ぶ人のために 〈わかちあい〉の共育学【基礎編】 教職課程コアカリキュラムに基づく教員養成テキスト 明石書店 9月
荻田 純久	■(共)乳児保育I,II 建帛社 7月 ■(共)教育のアイデア 改訂版 昭和堂 1月
前川 頼子、荻田 純久、原 知子	■(共)シードブック乳児保育I・II -科学的観察力と優しい心-初版 建帛社 7月
柚木たまみ	■(共)表現者を育てるための保育内容「音楽表現」-音遊びから音楽表現へー 教育情報出版 3月
李 霞	■(共)マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論〔第3版〕 教育情報出版 3月
久米 央也	■(共)たのしいさんすう1年～6年(文部科学省検定済教科書)大日本図書 3月
松木 宏史	■(監修)救護施設からの風 クリエイツかもがわ 9月 ■(共)子どもと社会の未来を拓く 社会福祉 青踏社 3月 ■(共)みらい×子どもの福祉ブックス 社会福祉 みらい 3月 ■(共)みらい×子どもの福祉ブックス 子ども家庭福祉 みらい 3月
松井 典子	■(共)表現者を育てるための保育内容「音楽表現」-音遊びから音楽表現へー 教育情報出版 3月
林 幸範	■(共)よくわかる!教職エキサイズ5 特別支援教育 ミネルヴァ書房 4月 ■(共)新訂 知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・指導福祉施設等実習ガイド 第2版2刷 同文書院 2月
三上 佳子	■(共)マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論 教育情報出版社 12月
若生眞理子	■(共)よくわかる社会人の基礎知識～マナー・文書・仕事のキホン～ぎょうせい 4月
その他(文献紹介)	
李 霞	■(単)李霞編「グローバル人材育成と国際バカロレアーアジア諸国のIB導入実態」『比較教育学研究第59号』日本比較教育学会、2019年8月 ■(単)李霞編「グローバル人材育成と国際バカロレアーアジア諸国のIB導入実態」『日本教育社会学会紀要第105号』日本教育社会学会、2019年11月
中平真由巳	■(共)別冊うかたま 次世代に伝え次ぐ家庭料理 汁物 農文協 12月 ■(共)別冊うかたま 次世代に伝え次ぐ家庭料理 そば・うどん・粉もの 農文協 3月
原 知子	■(共)別冊うかたま 次世代に伝え次ぐ家庭料理 汁物 農文協 12月
山岡ひとみ	■(共)別冊うかたま 次世代に伝え次ぐ家庭料理 汁物 農文協 12月

2) 本学研究紀要第45号 掲載学術論文・研究ノート(2月)(サブタイトル省略)

原 知子	■(単)若年層の野菜摂取における効果的な食育手法のための一考察
笹倉千佳弘	■(共)「不登校」児童の家庭・学校間「行き来」駆動をめぐる促進要因と抑制要因
北尾 岳夫	■(共)乳幼児の造形活動を対象とした運動学的分析 I
深尾 秀一	■(単)幼児期における粘土遊びと環境構成について ■(単)領域「表現」における造形表現の専門的事項とは何か
柚木たまみ	■(単)絵本を用いた音楽表現活動
李 霞	■(単)高等教育の「講義」におけるアクティブラーニング導入の試み
久米 央也	■(単)領域「環境」における栽培活動と小学校生活科における栽培活動の教育的効果についての研究 ■(共)領域「環境」における数量・図形の関心、感覚を育てる研究(2)
松井 典子	■(単)乳幼児のための音の音のでもおちゃ制作プロジェクト ■(共)ピアノ初学者のコード奏指導の実践
浜崎 由紀	■(共)京都市図書館における乳幼児サービス事業の歴史 ■(共)絵本の読み聞かせにおける読み手の視線の効果

永久 欣也	■(単)異文化間教育研究:多文化共生の保育と方法
林 幸範	■(共)特別支援教育における教員の役割に関する研究(1)
三上 佳子	■(単)養成校における保育実践力につながる子どもの心の動きや育ちを読み取る実践事例による演習の検討 ■(共)保育者養成校における主体的・対話的な学びにつながる指導案作成の指導過程の検討

3) 学術論文(サブタイトル省略)

秋山 元秀	■(単)短期大学らしい教育を実現するために 短期大学教育 75(日本私立短期大学協会) 10月 ■(単)裁縫学校から短期大学へ 私学経営 No.537(私学経営研究会 11月 ■(単)江門市の歴史遺産と文化景観 小野寺淳編「中国華南の地域構造の再編に関する地理学的調査研究-江門調査報告-」横浜市立大学都市社会研究科 1月
笹倉千佳弘	■(共)「不登校」児童の家庭・学校間「行き来」駆動促進要因 関西教育学会年報第43号 8月 ■(共)生きづらさのある人と共に歩む「支援」者の姿勢 大阪大谷大学紀要第54号 2月 ■(共)里親によるレスパイト・ケア利用促進に向けた里親支援専門相談員の役割 幼児教育実践研究センター紀要第10号 3月
北尾 岳夫	■(共)光と影を素材とした造形表現が幼児の身体動作に与える影響 奈良教育大学次世代教員養成センター研究紀要 3月
柚木たまみ	■(共)特別記事「第九の架け橋」近畿音楽療法誌Vol.17 4月
松井 典子	■(共)バラード第4番:手の小さな奏者のための演奏法研究(査読付き) 奈良教育大学紀要第68巻 第1号 10月 ■(共)音と身体運動に着目した子育て支援プログラムの開発 大阪商業大学共同参画研究所紀要第1号 3月
浜崎 由紀	■(共)乳幼児向け絵本に関する考察 大阪商業大学共同参画研究所紀要第1号 3月
金澤 雄介	■(単)Uno studio contrastivo del raddoppiamento clítico nel sardo e nello spagnolo dal punto di vista del grado della grammaticalizzazione Eva Lavric, Christine Konecny, Carmen Konzett-Firth, Wolfgang Pöckl, Monika Messner und Eduardo Jacinto García (eds.) Comparatio delectat III Peter Lang 11月 ■(単)La correlazione tra il raddoppiamento clítico e il cambiamento dell'ordine delle parole nel sardo Adam Alvah Catt, Ronald I. Kim, and Brent Vine (eds.) QAZZU warrai, Anatolian and Indo-European Studies in Honor of Kazuhiko Yoshida, Beech Stave Press. 12月
江見 和明	■(単)介護旅行サービスの普及に関する現状と課題 消費経済研究 7月
伊澤 亮介	■(単)伝統民間劇台本「長山遺祿」とそのチュノムの使用状況について 日本漢字學會報 第1号 6月

その他 論文受賞

小山内幸治	■(共)幼児教育における電子紙芝居を用いた金融教育の試み 第16回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール 【実践報告部門】奨励賞受賞 金融広報中央委員会 12月
-------	--

4) 学会発表

中平真由巳	■(共)滋賀県の大学・短大・専門学校に通う学生の朝食摂取状況に関する実態調査 栄養改善学会 3月
中平真由巳、原 知子	■(共)野菜の炒め調理におけるおいしさに関わる要素ーたまねぎの場合ー 日本調理科学会 8月
中平真由巳、山岡ひとみ	■(共)滋賀県の家庭料理 副菜の特徴ー在来野菜を主としてー 日本調理科学会 8月
原 知子	■(共)大阪府の家庭料理 副菜ー地場産食材の活用ー 日本調理科学会 8月／(共)兵庫県家庭料理 副菜の特徴-旬の食材を使用した日常の食卓 日本調理科学会 8月
笹倉千佳弘	■(共)生きづらさのある人と共に歩む「支援」者の姿勢 日本社会福祉学会 9月／(共)社会的養護児童の「不登校」をめぐる研究の動向 関西教育学会 11月／(共)里親によるレスパイト・ケア利用促進に向けた里親支援専門相談員の役割 日本子ども虐待防止学会 12月
金澤 雄介	■(単)La costruzione causativa nel sardo antico 29e Congrès international de linguistique et philologie romanes (コペンハーゲン)7月

深尾 秀一	■(共)領域「表現」の専門的教授内容とは何かー領域「表現」の教科書目次のテキストマイニング分析から見る専門的事項の変遷 保育教諭養成課程研究会 9月
-------	--

李 霞	■(単)シンガポールの幼児教育課程編成における「地域資源利用」の構想と実際 教育目標・評価学会 12月
-----	---

浜崎 由紀	■(単)絵本の人形劇化に関する考察ー「しょうぼうじょうしゃじぶた」を中心にー 日本保育学会 5月／(共)京都市図書館における乳幼児サービス事業の歴史ー事業報告を中心にー 日本保育学会 5月
-------	--

林 幸範	■(共)特別支援教育における対象の拡大に関する研究(1)日本応用心理学会 8月／(共)特別支援教育における対象の拡大に関する研究(2)日本特殊教育学会 9月／(共)特別支援教育における対象の拡大に関する研究(3)日本子ども虐待防止学会 12月／(共)特別支援教育における対象の拡大に関する研究(4)日本発達心理学会 3月
------	--

江見 和明	■(単)旅行介助人材育成に関する考察ー地域トラベルサポーター養成研修の内容を中心としてー 日本消費経済学会西日本大会 10月
-------	--

伊澤 亮介	■(単)The Composition of non-Standard Nôm Forms in Some Documents of Vietnamese Folk Literatures International Symposium "Culture, Religion, and Politics in Southeast Asia" 10月／(単)ベトナムの民族文字チュノムの造字と正字・俗字意識について 日本漢字学会第2回研究大会 11月
-------	--

5) 演奏会・展覧会

柚木たまみ	■ソプラノデュエットの愉しみ AtelierArtika(生駒) 5月／呪文と神秘～ジョリヴェとメシアン 京都文化博物館別館ホール 12月／第9回メサイアチャリティーコンサート 京都府立府民ホールアルティ 12月
-------	--

6) その他の発表

秋山 元秀	■近江から滋賀へー地域の歴史地理的特性からー 平野市民センター 6月／中世宇治の景観ー山間の世界と水辺の世界 宇治市市民大学(宇治市福祉会館) 7月／景観探偵学その5ー京阪石坂線に乗って大津の景観を探偵するー 放送大学面接授業(放送大学滋賀学習センター) 10月
柚木たまみ	■CD録音制作「月と鐘」渡会美帆作曲編曲作品集 6月
沖山 圭子	■短期大学における医療事務職の養成 医療秘書教育全国協議会 8月
金澤 雄介	■古サルデーニャ語における所有文についての予備的考察 2019年度ユーラシア言語研究コンソーシアム年次総会(京都) 3月
若生眞理子	■幼児向けマナー教材と実施プログラムの開発ー地域交流を目指してー 滋賀短期大学 11月

7) 国際的活動

柚木たまみ	■Les Rencontres de Calenzana カレンツァーナ国際音楽祭参加 フランス コルシカ島 8月
-------	---

8) 社会的活動

秋山 元秀	■草津市景観審議会会長 草津市 4月～／滋賀県NIE推進協議会会長 京都新聞滋賀本社他 4月～
中平真由巳	■近江美味しいもの KBS京都ラジオ 7月／ラムサルびわっこ大使派遣「in南三陸」交流指導引率 宮城県三陸町 11月／「湖っ子食育大賞」選考審査会 滋賀県大津合同庁舎 1月
清水まゆみ	■近江美味しいもの KBS京都ラジオ 6・11月
清水まゆみ、灰藤友理子、岡田 香織、岸田みさき、豊岡 真莉	■こども講座 こどもラボトリーー食べ物不思議ー 本学 8月
原 知子	■滋賀県保育協議会保育士基礎研修 講師 本学 7月／大津百町 認定商品 審査員 大津商工会議所 10月／滋賀県保育士等キャリアアップ研修 大津市民会館 10・11月
石井 明	■「ものづくりの魅力」講座(洋菓子) 湖南市立三雲小学校 11月、大津市立日吉台小学校 1月／ヘクセンハウス作成、展示 大津プリンスホテル 11月～12月
笹倉千佳弘	■川西市人権施策審議会委員 川西市役所 4月～／岡山大学大学院保健学研究科「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム19 岡山大学大学院保健学研究科 11月
石井 明、服部 聖羅	■キャリア講座 紅茶を使ったお菓子、ナッツを使ったお菓子 8月

山岡ひとみ	■滋賀医科大学共催講座 本学 8月／生涯学習講座 本学 8月／保育者協議会調理担当者研修会 滋賀県長寿社会福祉センター 9月
-------	--

灰藤友理子	■大津市食育推進ネットワーク会議 大津市保健所 8月／おおつ健康フェスティバル 明日都浜大津 10月
-------	--

岡田 香織	■ZeZeときめき坂ハロウィン 膳所駅前広場 10月
-------	----------------------------

岸田みさき、中平真由巳	■地域伝統食を親子で作る体験講座 大豆を食べよう 本学 1月
-------------	--------------------------------

豊岡 真莉	■京都府スポーツセンタースポーツ医・科学相談室 栄養相談事業 非常勤講師 京都府民総合交流プラザ 4,5,6,7,8,11,12,1,2,3月
-------	---

岡田 香織、岸田みさき、豊岡 真莉、中平真由巳	
-------------------------	--

■びわ湖こどもの国チャレンジ合宿 高島市びわ湖こどもの国 8月／すみれガーデン 親子おやつ教室 本学調理学実習室 9月／びわ湖こどもの国 親子おやつ教室 高島市びわ湖こどもの国／ 11月／滋賀県産野菜をおいしく食べよう 草津市淡川小学校 2月

岡田 香織、岸田みさき、豊岡 真莉、灰藤友理子、中平真由巳	■幼児教育アカデミー in SHIGATAN ポスター発表 本学 11月
-------------------------------	--------------------------------------

服部 聖羅	■ベーカーリー塾パン講座 製菓実習室 5月／ふるさと竜王夏まつり 妹背の里 8月／zezeときめき坂ハロウィン 膳所駅前広場 10月
荻田 純久	■キンダーカウンセラー 洛東幼稚園 5月～(5回)

北尾 岳夫	■滋賀県スキー連盟 総務部長 県内 8～7月／京都YMCA スキー専門委員 京都府 4～3月／地域連携講座(守山市) 講師 守山市 1月
-------	--

前川 頼子	■滋賀県保育協議会新任研修 滋賀県長寿社会福祉センター 5月／滋賀県保育協議会家庭的保育事業基礎研修 本学 7月／滋賀県保育士等キャリアアップ研修 びわ湖大津館 11月
-------	--

柚木たまみ	■特別支援学級在籍児童に対する音楽療法の実施(大東市教育委員会主催) 大東市子ども発達支援センター 6～2月／幼児教育研修講座(守山市教育研究所主催) 守山市生涯学習・教育支援センター 12月
-------	--

久米 央也	■守山市訪問相談事業訪問相談員 吉身小学校 9～2月／大津市立平野小学校運営協議会委員 平野小学校 5～3月
-------	--

松木 宏史	■大津市平野学区社会福祉協議会 参与 大津市 通年／米原市子ども貧困対策ワーキング会議 オフザーバー 米原市 通年／吹田市第四次地域福祉計画推進委員会 副委員長 策定部会長
-------	--

深尾 秀一	■第4回幼児造形研究大会びわこ集会 滋賀短期大学附属幼稚園 7月／東近江市幼児教育センター 滋賀短期大学共催講座 講師 東近江市立長峰幼稚園 8月
-------	---

松村 都子	■幼稚園・認定こども園等新採用教員研修(表現活動・造形)総合教育センター 9月／幼稚園・認定こども園等中堅教諭等資質向上研修 総合教育センター 12月／滋賀大学教職実践演習 滋賀大学 1月
-------	--

松井 典子	■教員免許状更新講習 滋賀大学教育学部 8月／大阪商業大学共同参画研究所藤井寺市地域子育て支援拠点事業 子育て支援講座の実施 藤井寺市子育て支援ひろばユタリユックリ 10,12,2月
-------	---

浜崎 由紀	■教員免許状更新講習 滋賀大学教育学部 8月／滋賀県子育て支援員研修 大津市勤労福祉センター 10,11月／滋賀県保育士等キャリアアップ研修「子育て支援」 びわ湖大津館 11月
-------	--

永久 欣也	■家庭的保育室等職員研修会 甲賀市碧水ホール 7月
-------	---------------------------

林 幸範	■家庭的保育基礎研修 本学 7・8月／保育士キャリアアップ研修(障害児保育)栗東市商工会館 10月／平野小学校特別支援学級でのボランティア 大津市立平野小学校 10～12月
------	--

三上 佳子	■滋賀県国公立幼稚園・こども園長会研修会 県総合教育センター 11月／おおつ地域福祉未来塾研修会 明日都 12月／2歳児親子子育て講座 大津市立志賀北幼稚園 1月
-------	---

山中 博史	■守山物部スポーツクラブ夏休みキッズ教室 守山小学校 8月
-------	-------------------------------

沖山 圭子	■全国医師会医療秘書学院連絡協議会 運営委員 4月～／日本医療福祉実務教育協会専門委員 4月～／滋賀県教育委員会高大連携講座 8月
-------	---

金澤 雄介	■図書館教育講座 大津市立浜大津図書館 9月／関西言語学会 編集委員 通年
-------	---------------------------------------

江見 和明	■日本消費経済学会 監事 通年
-------	-----------------

若生眞理子	■日本国際秘書学会 選挙管理委員長 通年
-------	----------------------

中村 吉弘	■一般社団法人 日本宿泊産業マネジメント技能協会 厚生労働省指定ホテルマネジメント技能検定官 定例・研究会 兵庫県西宮 隔月
-------	--

入試概要

総合型選抜【AO入試】事前相談				
	I 期	II 期	III 期	
エントリー期間 (締切日消印有効)	7/1(水)～7/10(金)	8/1(土)～8/10(月・祝)	9/1(火)～9/10(木)	
事前相談日程	7/18(土)・7/19(日) どちらか1日(受付後、連絡します。)	8/19(水)	9/19(土)	
結果発表日	7/31(金)	8/27(木)	9/29(火)	

入試区分	学校推薦型選抜B【公募制推薦入試】		一般選抜	
	前期(専願・併願)	後期(専願・併願)	I 期	II 期
出願期間 (締切日消印有効)	11/2(月)～11/12(木)	11/30(月)～12/10(木)	1/6(水)～1/25(月)	2/17(水)～3/1(月)
試験日	11/21(土)	12/19(土)	1/31(日)	3/9(火)
合格発表日	12/1(火)	12/25(金)	2/9(火)	3/12(金)

その他の入試については2021入試ガイドでご確認をお願いします

奨学金制度

最大で2年間の授業料負担相当額が「全額免除」となります。

給付型だから
返納不要!

滋賀短期大学 夢・未来人特待生制度
〈滋賀短 ユメミライ〉

※一旦全額納付した後、
入学後(6月頃)給付となる
奨学金ではありません。

滋賀短 ユメミライ プラチナ100

一般選抜 I 期

2年間の授業料負担相当額免除

給付条件:入試成績1～5位かつ得点率90%以上
2年目の給付条件:1回生における所属学科成績上位30%以内

2年間 授業料負担 **0円** (入学金等が別途必要です)
(2020年度入試 実績/1名採用)

滋賀短 ユメミライ プラチナ50

一般選抜 I 期

2年間の授業料負担相当額1/2免除 ※国公立大学と同等の
授業料で修学できます

給付条件:入試成績上位20位以内かつ得点率85%以上
2年目の給付条件:1回生における所属学科成績上位30%以内

2年間 授業料負担 **36万円/年** (入学金等が別途必要です)
(2020年度入試 実績/3名採用)

入学検定料優遇制度

本学卒業生又は在学生の1親等以内の親族又は兄弟姉妹が本学を専願で受験される場合は、入学検定料が無料となります。詳しくは入試広報センターまでお問い合わせください。

純美禮学園奨学金(優待奨学生制度)

純美禮学園(滋賀短期大学・附属高校)に兄弟姉妹で2人以上の在籍がある場合は、その弟が妹を対象に授業料の1/2を奨学金(返還義務なし)として支給します。

滋賀短期大学は高等教育修学支援新制度の対象校として文部科学省から認定されています。内容の詳細は下記のページからご参考ください。

●文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」 ●JASSOホームページ「奨学金の制度(給付型)」

●オープンキャンパス 7/4(土)・7/5(日)・8/2(日)・8/22(土)・8/23(日)・9/6(日)・11/7(土)・12/12(土)・2/7(日)・3/20(土・祝)
滋賀短期大学を一人でも多くの高校生に知ってもらおうと、今年も色々趣向をこらし、感染症対策を十分に講じた上で開催します。
受験生のお知り合いがいらっしゃいましたら、その方にもぜひお声掛けください。日程によって、時間が異なります。詳しくはHPをご覧ください。

●見学について
滋賀短期大学のキャンパスをいつでもご見学いただくことができます。また、大学案内、願書等の資料を配布しております。
【見学受付】平日(10:00～17:00) 入試広報課(077-524-3848)までご連絡ください。

願書のご請求・質問お問い合わせはこちらまで。 入試広報センター(入試広報課) TEL:077-524-3848 メール:tnyusi@sumire.ac.jp

学科紹介

生活学科

— 暮らしに関わる豊かな学び —

新年度から、「快適で豊かな暮らし」を創造・提案・実現する専門家を育成するライフデザインコースを開設しました。本コースでは、衣・食・住の領域をはじめホスピタリティーやコミュニケーション論、デジタル時代の生活に欠かせないITまで、現代の生活を科学の視点から総合的に学びます。衣・食・住の分野は、実習、演習による実践的な学びを重視した科目が揃っており、モノづくりの基礎から専門的な手法と技術まで興味のある領域を深く学んで習得できます。さらに、あらゆる場面で役立つビジネスマナー、ウェブデザイン等を受講することができ、興味関心に応じた科目の選択が可能です。
暮らしのエキスパートとしての力を育む新コースの学びが始まります。



幼児教育保育学科

— 新たな学びのプログラム —

本学卒業後の進路として、公務員保育者(公立園勤務)を目指したり、4年制大学への編入を希望したり、また保育現場で将来的には主任や園長といった管理職として活躍したいと考えている人もいます。そういった学生のために、2020年度から「アドバンス」と呼ぶ学びのプログラムを用意しました。このプログラムでは、通常の授業に加え、高校までの基礎学力の確認を行うとともに、論文講読、小論文の書き方、プレゼンテーションの方法などについて学ぶ「アドバンスアワー」や、保育現場のリーダーとしての資質・能力の向上を目指す「保育リーダー論」といった授業を受講し、保育者としての専門知識や技能についてより時間をかけて学びます。



ビジネスコミュニケーション学科

— ビジネスコミュニケーション学科の目玉授業 —

令和元年度から「おもしろ観光ツアー演習」がはじまりました。株式会社日本旅行のカリスマ添乗員として知られる平田進也先生にご指導いただいています。この授業の目玉は何といっても、実際にお客様を募集し、バスツアーを実施し、学生が考えたおもてなしを実践するということにあります。令和元年6月16日に行われたツアーには、平田先生の常連客の皆様が多数参加され、新大阪駅集合⇒油日神社⇒宮乃温泉⇒信楽陶芸村⇒新大阪駅、という行程をお楽しみいただきました。学生は、平田先生のおもてなしの姿勢を生きた教材として間近で見ることができ、また、お客様のおもてなしを実際に体験することで、多くのことを学ぶことができたと思います。今回のツアー体験は、学生の今後の人生に大きな影響を与えることでしょう。



図書館だより

本学図書館では、学生の皆さんの授業や研究をサポートする図書や雑誌を収集し、提供しています。

参考調査も行っており、皆さんが必要とする情報を収集するお手伝いもします。

図書館には皆さんの使えるパソコンも複数設置しています。Word・Excelでのレポート作成にも図書館をご利用ください。

もちろん、授業の合間に図書を読んだり、映画を見たり、インターネットなどを利用したり、といった娯楽活動にも是非どうぞ。

皆さんがよい本に出会い、学生生活の良い思い出になるよう願っております。

図書館から、皆さんにお勧めの図書を紹介します。



私、失敗ばかりなので
へこたれない仕事術
内山聖子著 新潮社



遊びが学びに欠かせないわけ
自立した学び手育てる
ピーター・グレイ著
吉田 新一郎訳
築地書館



日本の美しい色と言葉
桜井輝子著 SB Creative



イギリス菓子図鑑
羽根則子著 成文堂新光社



最新版 大学生のための
レポート・論文術
小笠原 喜康著 株式会社講談社



改訂
キャリアデザイン入門
菊地 信一著 株式会社光生館

人事異動

退職

(令和2年3月31日付)

生活学科	特任助手	服部 聖羅
幼児教育保育学科	教授	前川 頼子
	教授	荻田 純久
	嘱託職員	佐野 淳
ビジネスコミュニケーション学科	准教授	金澤 雄介
教務課	主任	松田 美枝
総務課	嘱託職員	中野 奈央子

採用

(令和2年4月1日付) () 前職位

生活学科	特任講師	河村 梨花
	特任助手	北川 志信(非常勤職員)
幼児教育保育学科	准教授	三上 佳子(特任准教授Ⅱ)
ビジネスコミュニケーション学科	特任教授	中村 吉弘(特任教授Ⅱ)
学務課	主事	千々岩 優伽
入試広報課	主事	山梶 莉奈
(令和2年5月7日付)		
総務課	嘱託職員	吉野 みずほ

昇任

学務課	係長	中塚 豊(教務課主任)
-----	----	-------------

組織変更に伴う

学務課	課長	太田 美穂子(教務課課長)
-----	----	---------------

配置換え

法人本部(兼総務課主任)	主任	辻 順一(総務課主任)
附属高等学校	主任	池田 貴彦(入試広報課主任)

兼務

附属すみれ保育園	CCEO	松村 都子 (地域連携センター准教授)
----------	------	------------------------

公開講座について

令和2年度の公開講座につきましては、コロナウィルス感染防止のため下記の通りとなります。ご了承をお願いいたします。

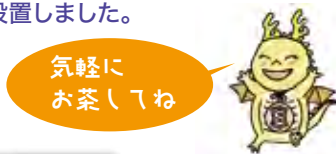
- 滋賀医科大学との共催公開講座…**中止**いたします。(毎年8月上旬実施)
 - 子ども講座・生涯学習講座…現状、**中止方向で検討中**です。(毎年8月～9月実施)
 - 公開講座…現状、未定です。(毎年10月実施)
- ※開催・中止が決まりましたら、本学ホームページ等でご連絡いたします。

TOPICS

滋賀短期大学の
紹介動画を作成しました。
是非ご覧ください。



正面入り口横(食堂窓側)にテラス
を設置しました。



募金のお願い

【募金の目的】 創立50周年を将来に向けての大きな節目としてとらえ、学生が満足な短大生活を送ることが出来るよう、更なる教育環境の整備・改善、修学支援の充実、課外活動の支援に取り組みます。

【募集期間】 令和元年12月1日～令和3年3月31日

【募集目標金額】 5千万円

【募集一口金額】 個人…5,000円以上

法人…特に金額は定めない

口数にかかわらず任意の金額も有り難くお受けいたします。

【申込み方法】 口座振込み・現金書留による郵送・現金ご持参

下記連絡先に電話でご依頼ください。専用振込用紙をお送りさせていただきます。

電話番号：077-524-3605 滋賀短期大学50周年記念寄付事務局(総務課)

寄付報告

SHIGATAN 滋賀短期大学 創立50周年記念募金

令和元年12月1日から平成2年5月22日の間に、「滋賀短期大学創立50周年事業記念募金」にご寄付を賜りました。誠にありがとうございます。ご寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

- ご芳名は、以下の基準により掲載しております。
- 募金の申込みにあたり、ご芳名及び寄付金額公表に同意いただいた方を掲載しております。
 - 複数回にわたりご寄付をいただいた場合、金額を合計しご芳名は一度としております。
 - ご芳名は50音順・敬称略で掲載しております。

・総件数	70 件	・総金額	3,820,000 円
・法人件数	3 件	・法人金額	700,000 円
・個人件数	67 件	・個人金額	3,120,000 円

◆寄付者一覧(法人・企業・団体)

500,000 円	
株式会社 竹中工務店	様
100,000 円	
株式会社 大沼保険事務所	様
ご芳名のみ公表	
株式会社 滋賀銀行	様

◆寄付者一覧(個人)

500,000 円	松 村 文 夫 様	匿名の方 1 件		
200,000 円	増 井 金 典 様	匿名の方 1 件		
100,000 円	秋 山 元 秀 様	浅 見 義 典 様	香 山 サ エ 子 様	成 田 巳 代 子 様
	山 中 博 史 様	吉 田 英 史 様		
50,000 円	岡 本 清 様	後 藤 俊 男 様	清 水 た ま 子 様	中 村 吉 弘 様
	松 原 郁 雄 様	宮 本 廣 行 様	森 田 育 代 様	匿名の方 3 件
30,000 円	太 田 美 穂 子 様	奥 田 實 様	苗 村 昇 様	前 川 秀 治 様
	匿名の方 3 件			
20,000 円	東 清 信 様	池 田 貴 彦 様	井 上 澄 子 様	井 ノ 口 善 夫 様
	馬 場 章 様	山 中 隆 様	匿名の方 1 件	
15,000 円	匿名の方 1 件			
10,000 円	飯 盛 順 子 様	金 澤 雄 介 様	上 柳 一 幸 様	川 居 京 子 様
	河 地 章 子 様	齋 藤 幸 代 様	白 井 昌 子 様	鈴 木 順 子 様
	西 川 久 子 様	治 田 彰 子 様	匿名の方 9 件	
5,000 円	居 合 妙 子 様	大 林 正 子 様	北 山 佳 生 様	高 橋 和 子 様
	成 徳 由 紀 子 様	早 川 滋 人 様	匿名の方 7 件	